

2025年度 第2四半期決算概要

2025.11.6

株式会社ニフコ

All Rights Reserved. Copyright © 2025. Nifco Inc.

第2四半期 業績概要

- 営業利益・営業利益率とも最高水準を維持
- 四半期営業利益率13.9%で高水準を維持
- 累計（上期）営業利益率も14%超え

業績見通し

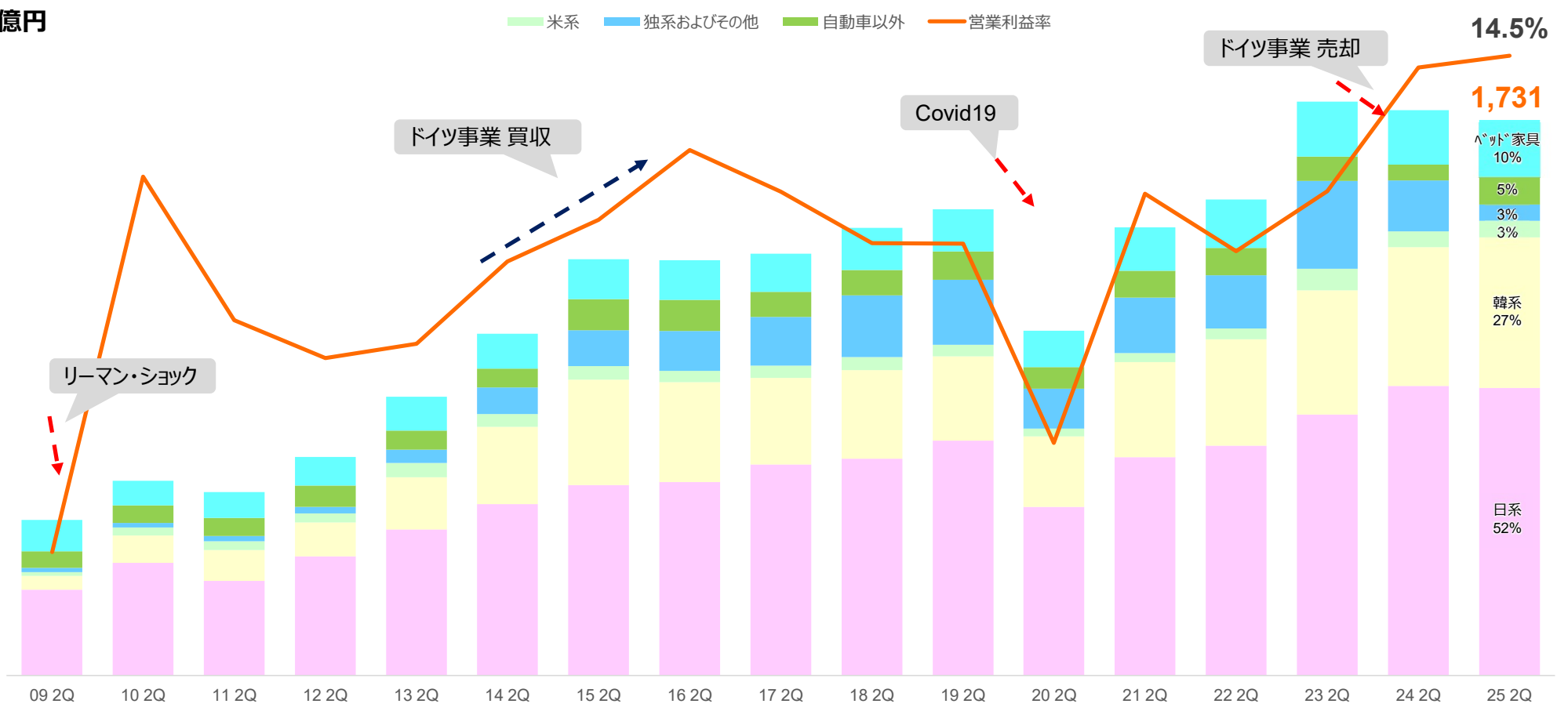
- 進捗は順調なるも、通期業績見通しは変更なし
- 下期の半導体影響による不透明感、中国地域の不振
- 為替前提も変更なし（\$/¥145）

1. 決算ハイライト
売上高・営業利益率 推移 2Q累計



• 売上が前年比減収もOPMは14.5%と過去最高水準を維持

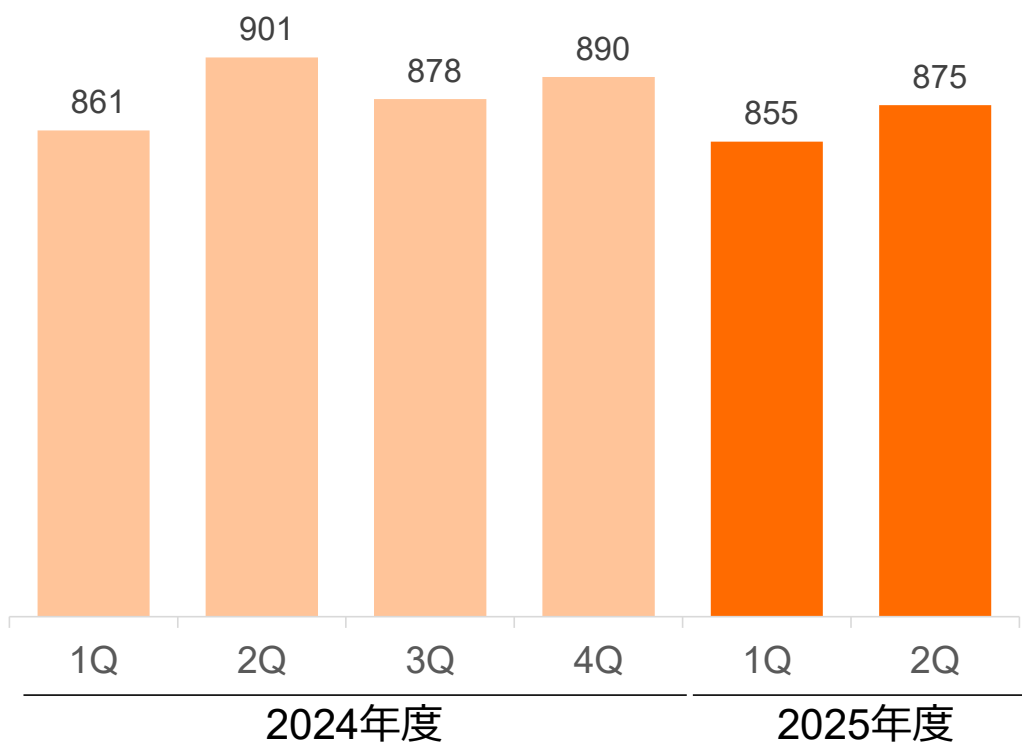
単位：億円



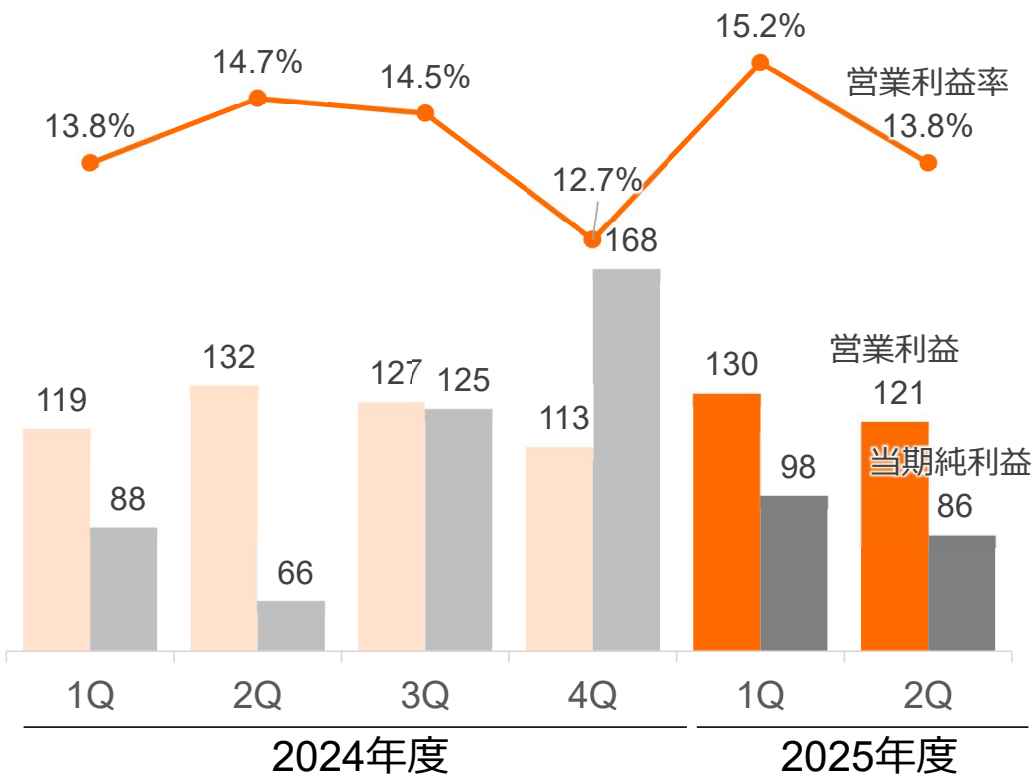
2.2025年度2Q連結業績概要
前年同期比で減収・減益

- 為替の影響もあり前2Q比は減収
- 当期純利益は固定資産の売却もあり前年比で増加

売上高(億円)



営業利益、当期純利益、営業利益率(億円、%)



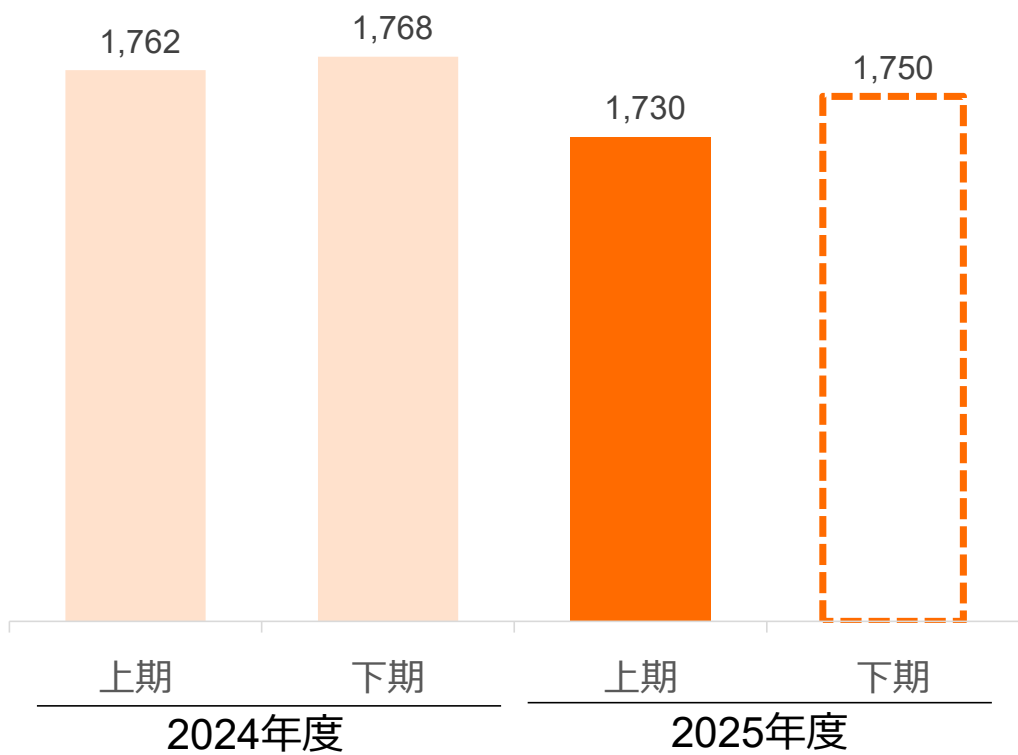
3.2025年度上期連結業績概要



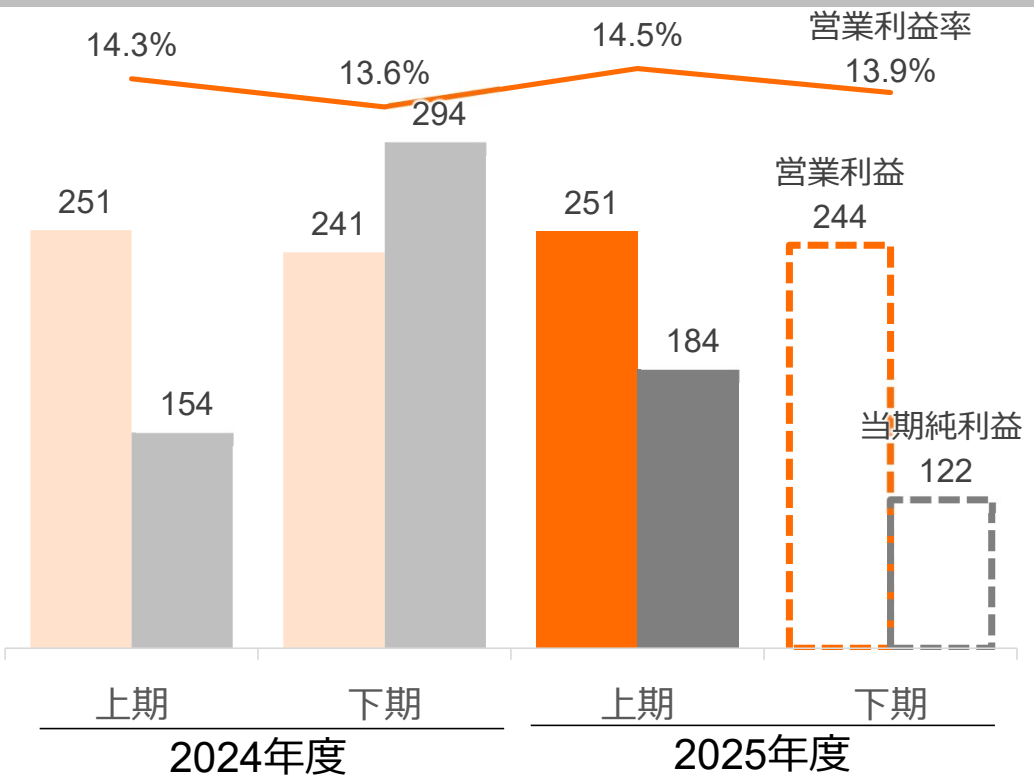
上期（累計）OPMは14.5%と高水準を維持

- 為替の影響もあり減収ながら、高水準の営業利益率を確保
- 通期予算、進捗率：売上高50%、営業利益51%
- 半導体影響が不透明のため、為替前提を変えずガイダンスは据え置く (売上3,480億円 営業利益495億円)

売上高(億円)



営業利益、当期純利益、営業利益率(億円、%)

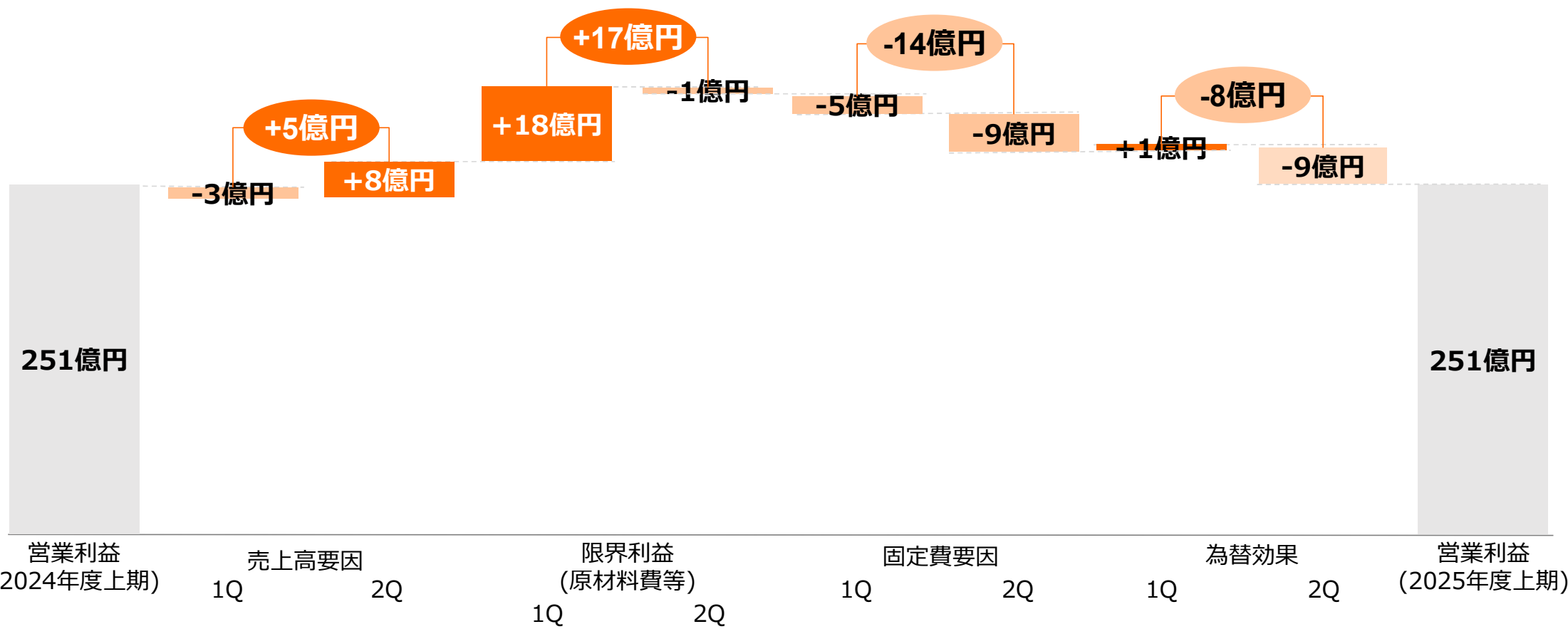


4.2025年度上期連結営業利益(前年同期比)

営業利益増減分析（前年同期比）

*2Q数字は累計から1Qの数字を差し引いた額を便宜上使用

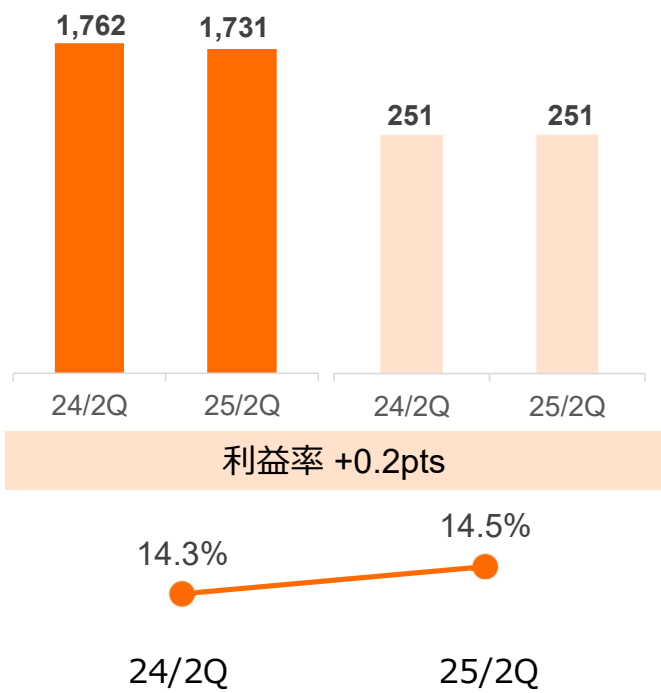
- 限界利益は金型売上により微減、材料費は上昇傾向
- 固定費の増加は人件費の増加



単位：億円 ■売上高 ■営業利益 —営業利益率—

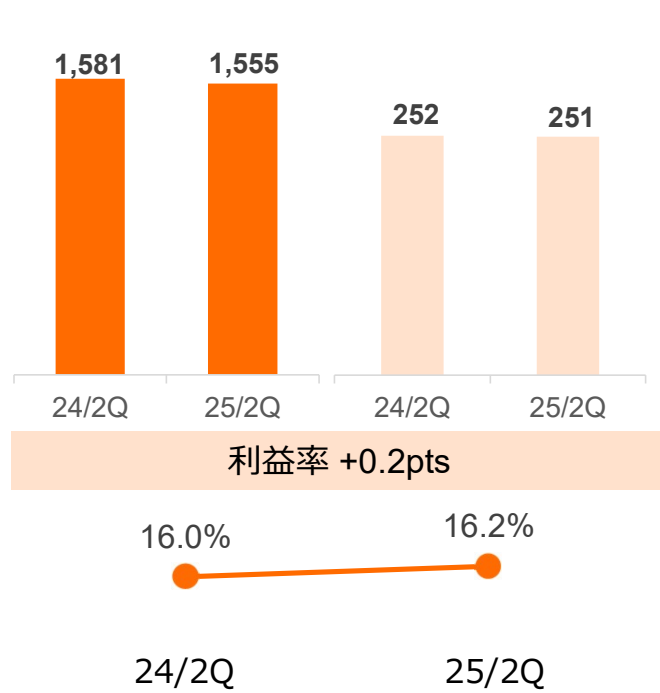
連結

前年比：売上-1.8% 利益+0.0%



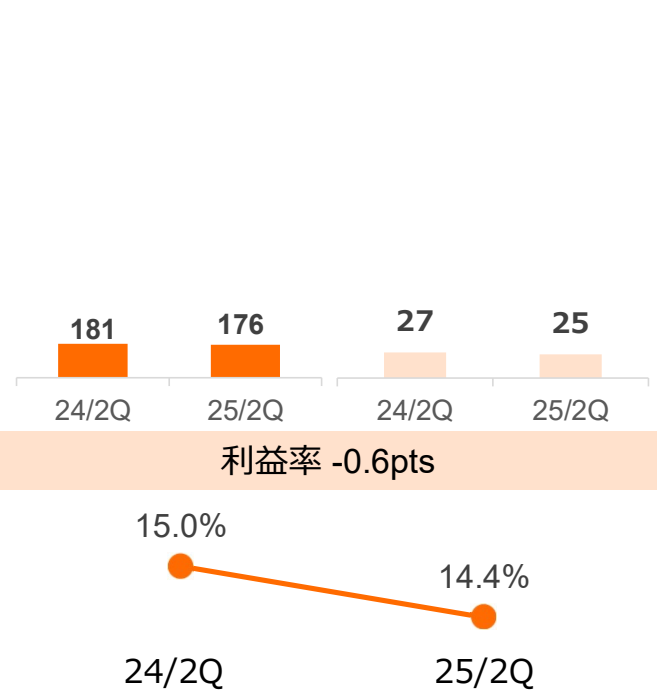
合成樹脂

前年比：売上-1.6% 利益-0.3%



ベッド・家具

前年比：売上-3.1% 利益-6.9%

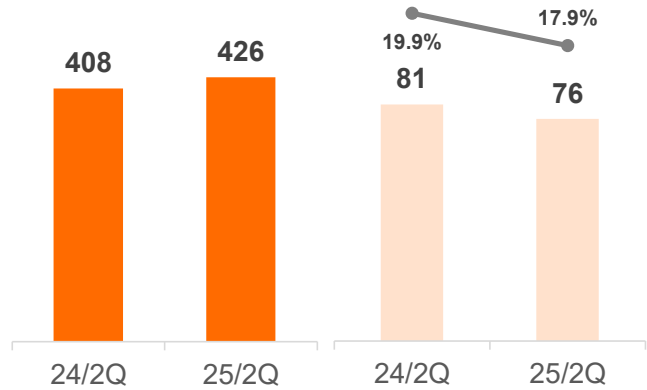


6.2025年度セグメント情報（合成樹脂）
FY2025 2Q 売上高 営業利益率(海外セグメントは1-6月)

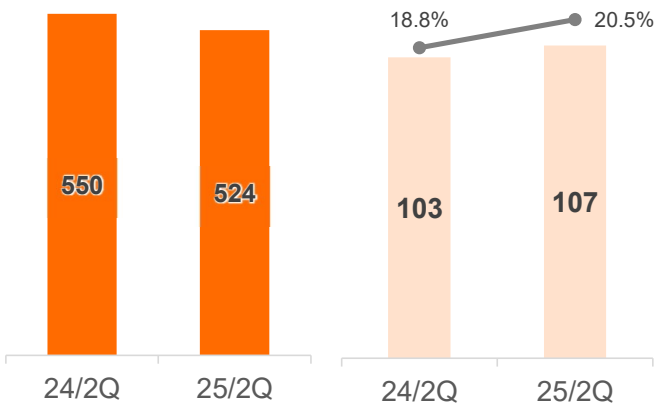


単位：億円 ■売上高 ■営業利益 ●営業利益率

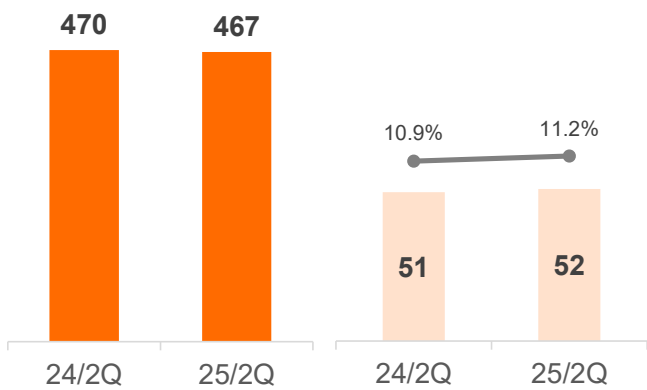
日本
販売台数微増



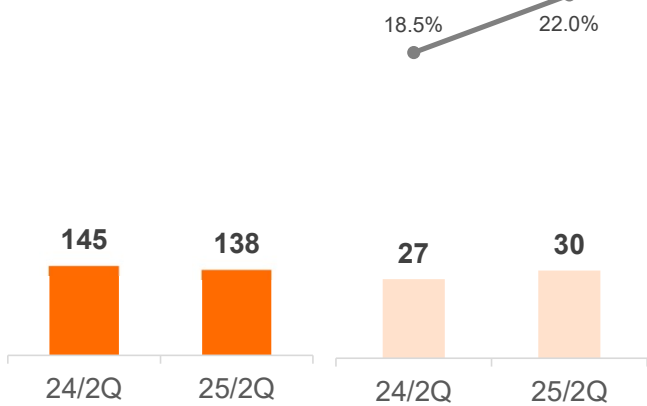
アジア(含中国、インド)
減収も改善により増益



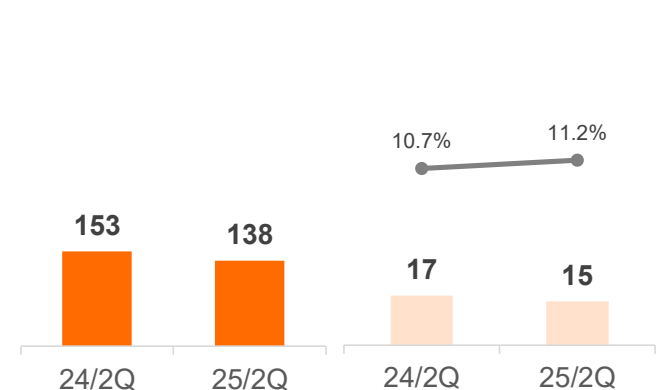
北米
韓国系好調



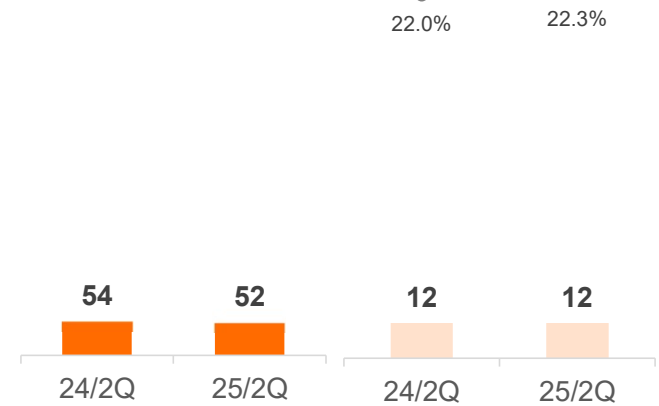
中国
減収も改善により増益



欧州
減収も利益は確保



インド
販売台数減により減収



7.2025年度セグメント情報（ベッド・家具）
FY2025 2Q 売上高 営業利益率(海外セグメントは1-6月)

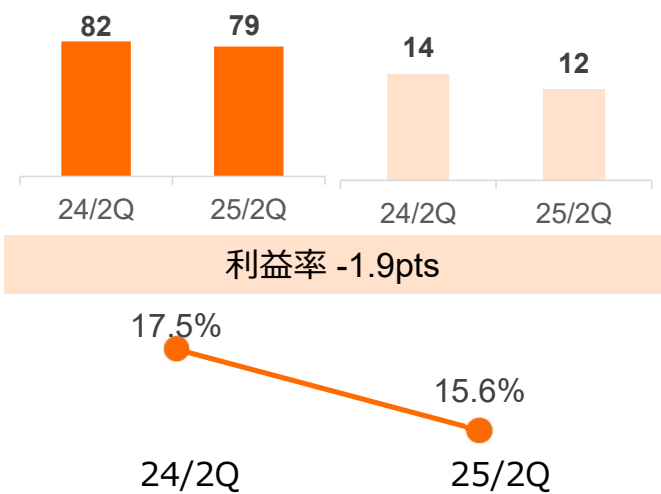
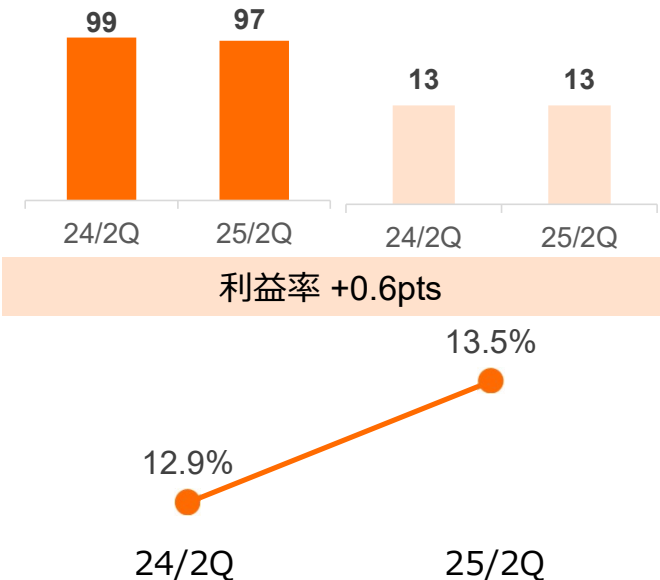
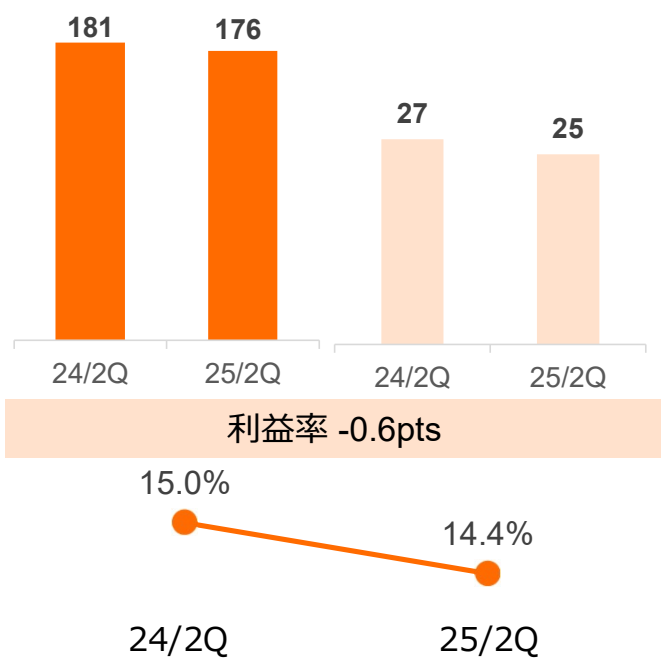


単位：億円 ■売上高 ■営業利益 ●営業利益率

ベッド・家具
前年比：売上-3.1% 利益-6.9%

ベッド・家具：日本
ホテル好調

ベッド・家具：アジア
香港・シンガポール不調

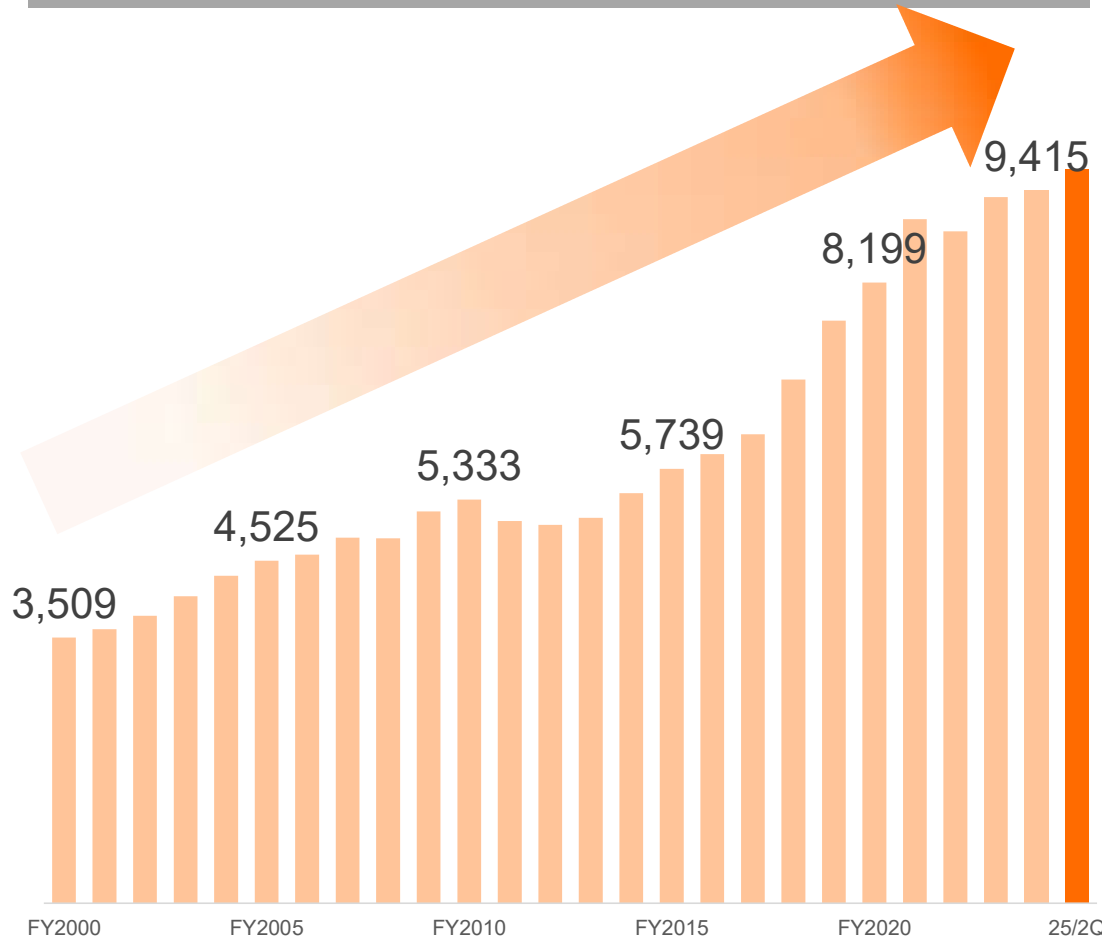


8. 2025年度搭載金額

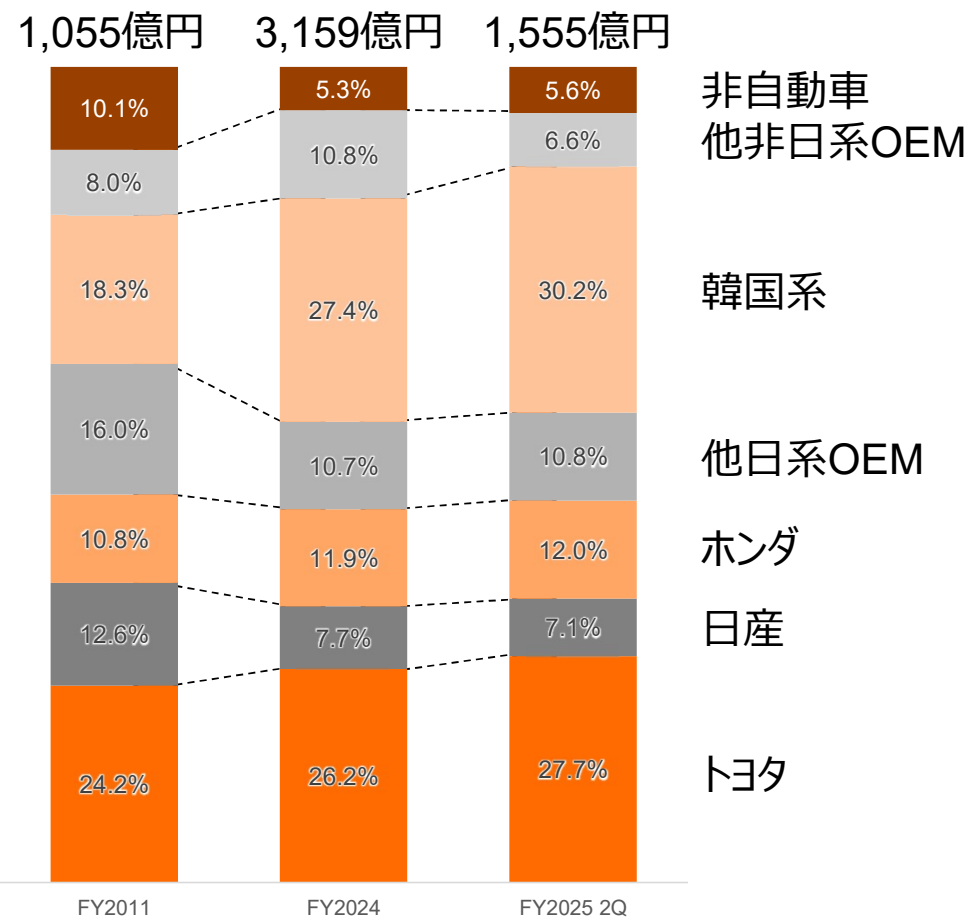
国内 平均搭載金額は着実に上昇している



国内 平均搭載金額（円/台）



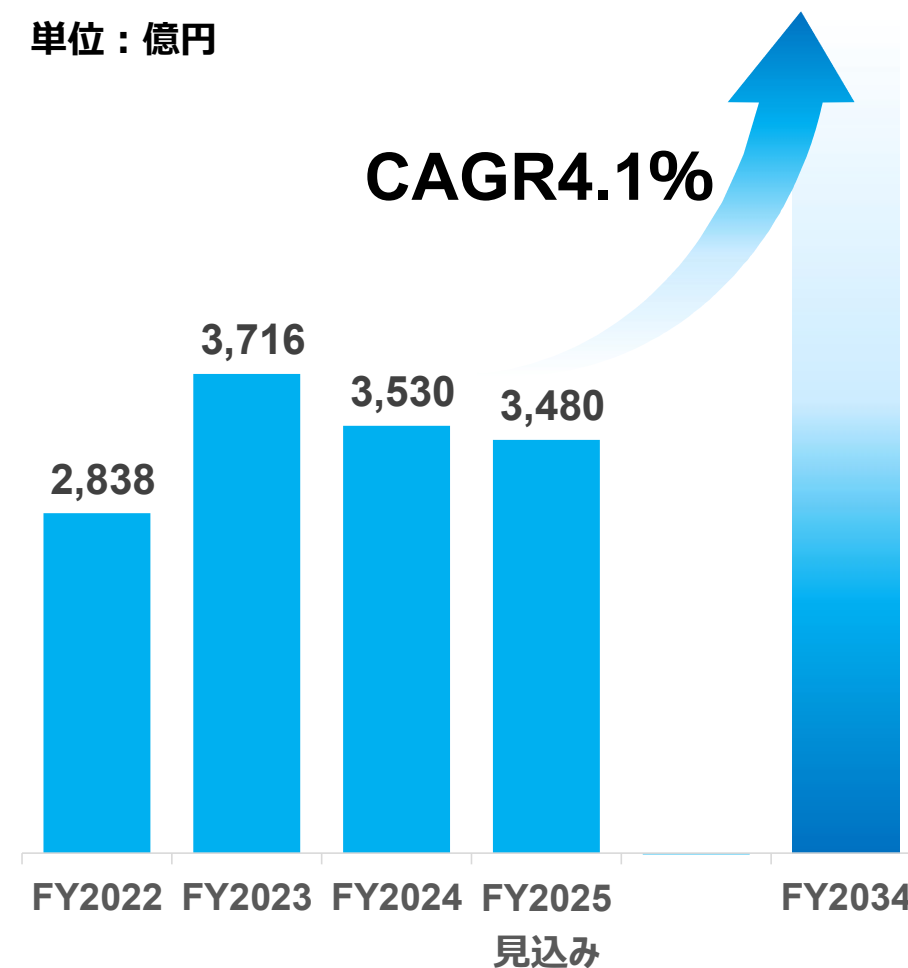
顧客構成 グローバル 合成樹脂



- ・中国・中資系OEMビジネスの拡大
- ・インド市場ビジネスの拡大
- ・韓国系グループ売上最大化
- ・事業ポートフォリオの創出

売上推移

単位：億円



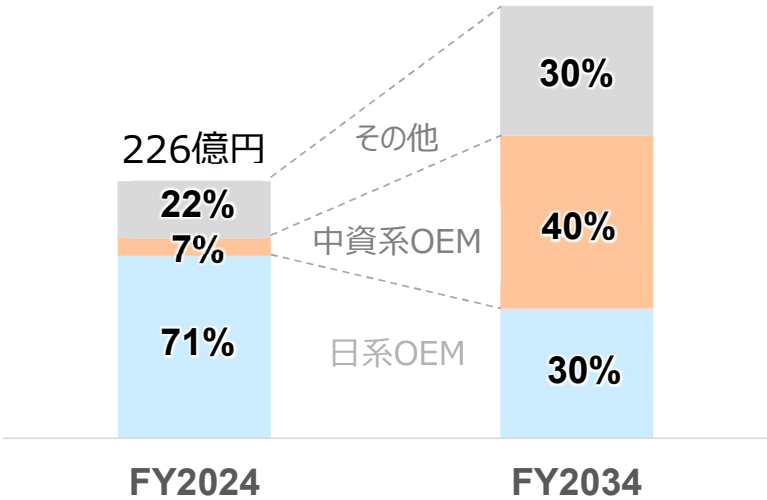
中国・中資系OEMビジネスの拡大

ニフコは中資系OEMを成長の柱と位置づけ中国市場で安定的に稼ぐ体制を強化する。

中国市場の現状

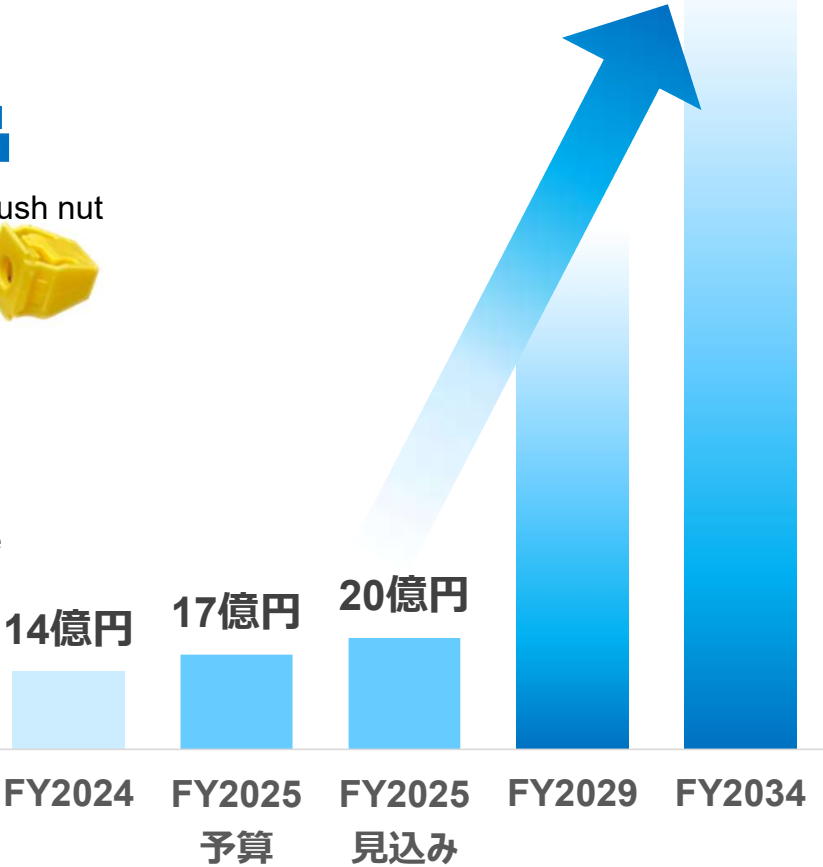
- 日系OEMは生産台数減少
- 中資系OEMがシェアを拡大

中国リージョン売上高構成見込み



売上推移

受注商品

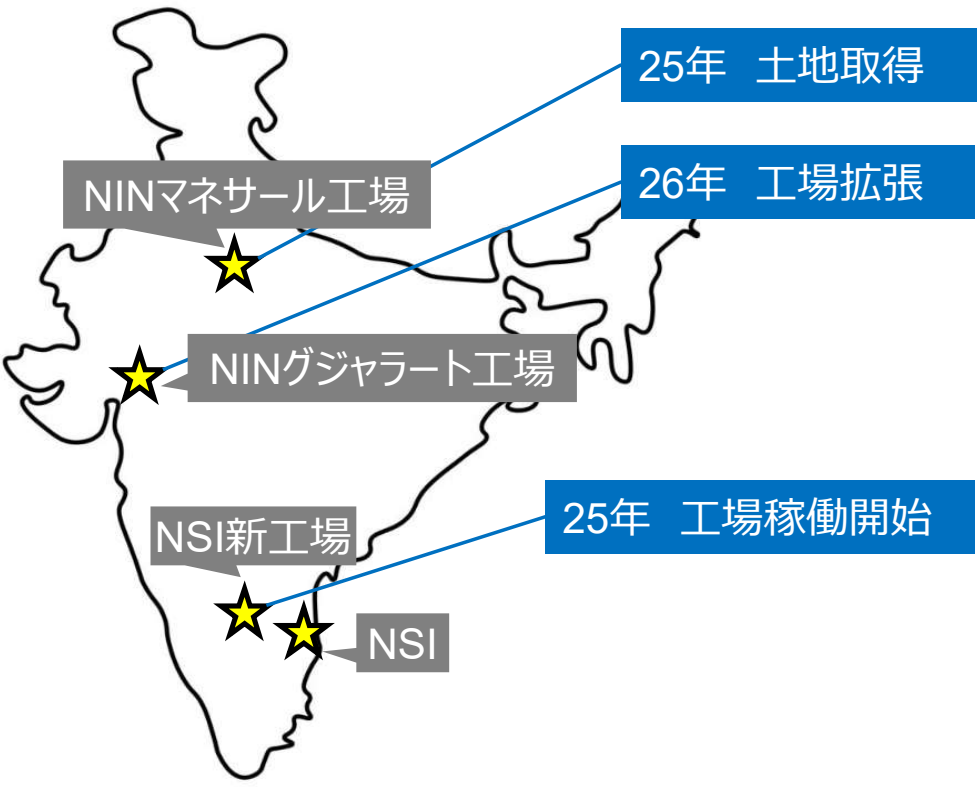


インド市場ビジネスの拡大

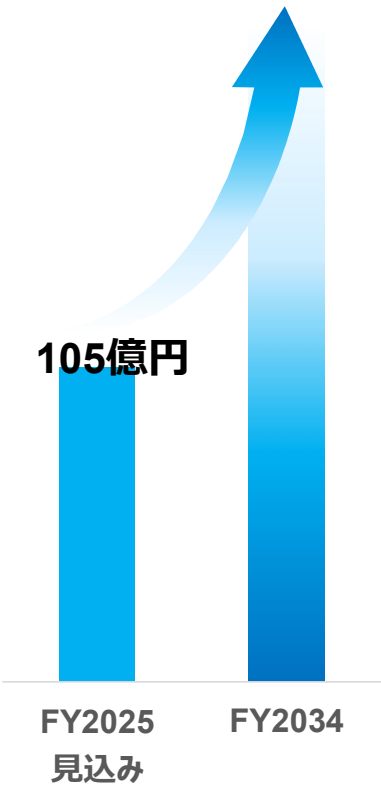
日系、韓国系OEM原単位MAX化

インド市場の現状

-2030年には**7百万台の乗用車生産**が予想



売上推移





Mahindra

SUV
COCKPIT/CONSOLE用
A/VENT



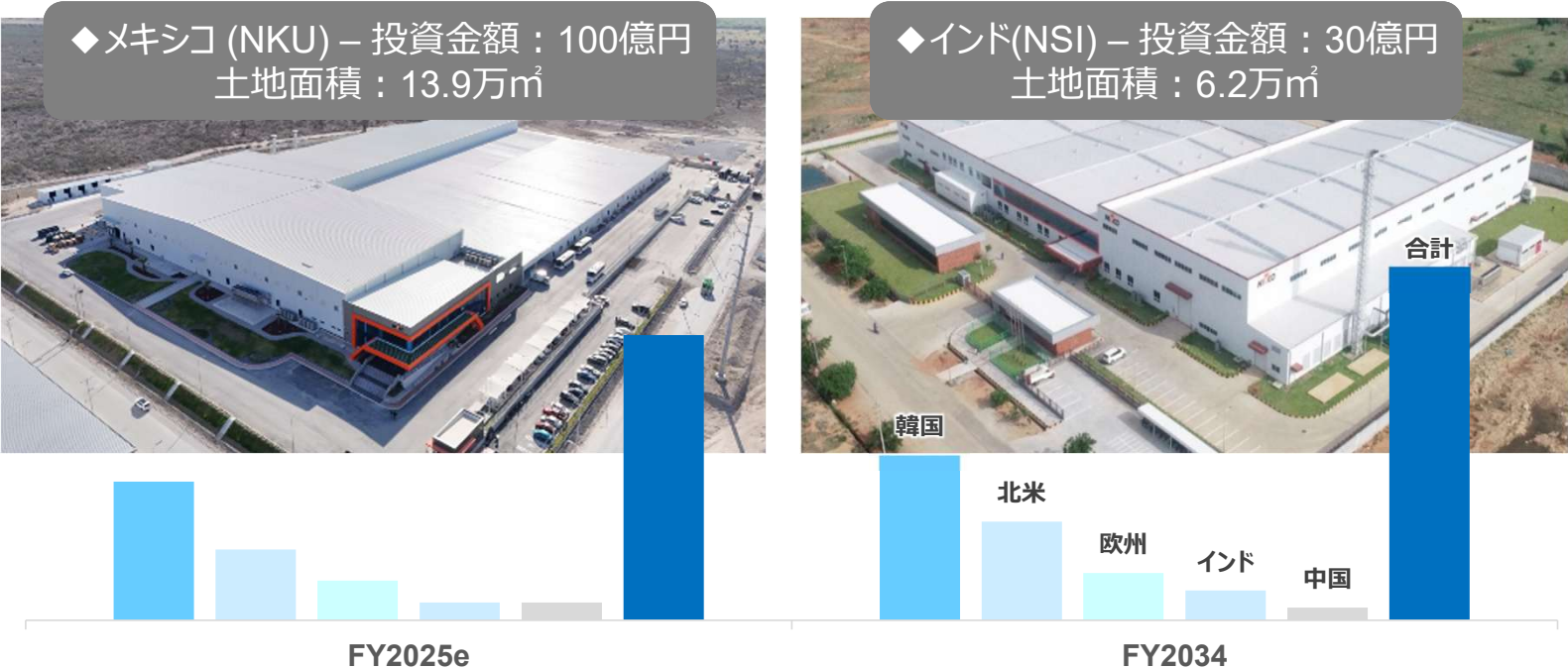
BEV
COCKPIT/CONSOLE用
A/VENT



韓国系グループ売上最大化

グローバルでの韓国系OEMビジネスの更なる強化

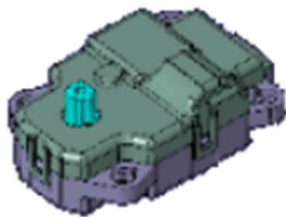
現代/起亜を中心とした韓国OEMビジネスを強化する為、メキシコ（NKU）とインド（NSI）にて工場を建設済み。



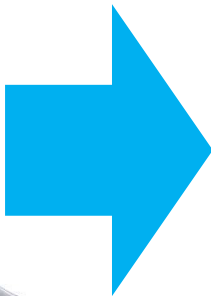
NKO Gr.の2034年度売上高は125%成長を目指す

Air Vent

ACTUATOR



電動Air Vent



搭載車種
Grandeur



窓用エアコン



浴室用複合換気扇

売上推移



FY2025 FY2027 FY2030 FY2034

事業ポートフォリオの創出 自動車アフターマーケット

コンセプト

「高齢化・人手不足」「整備の複雑化・高度化」
2つの課題が同時進行する自動車整備に
「アナログ×デジタル」を組合せた事業を展開

高効率化

【高精度位置出し】
3次元マーカー
×
画像認識

完全自動化

【システム連携】
モーションキャプチャ
×
ロボティクス

外部能力を活用し、持続可能な「安全」のバリューチェーンをつなぐ

活動

パートナーシップの構築

出合いの相互作用

・現場の課題抽出

パートナーの共感

・ソリューションの共創

◆IAAE2025に出展(2025年2月26~28日)



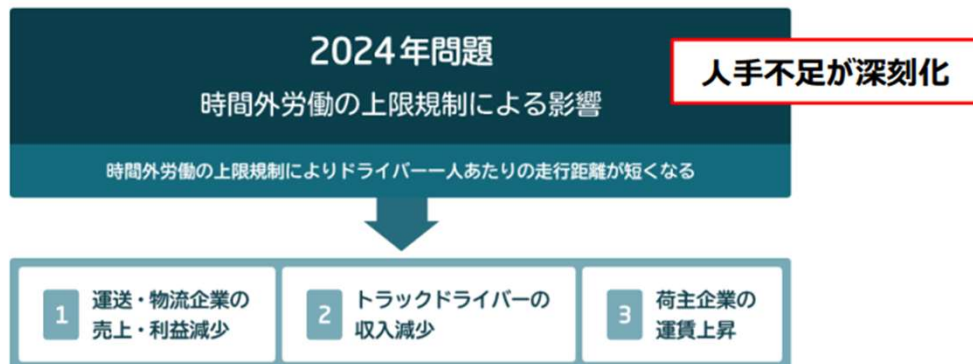
売上推移



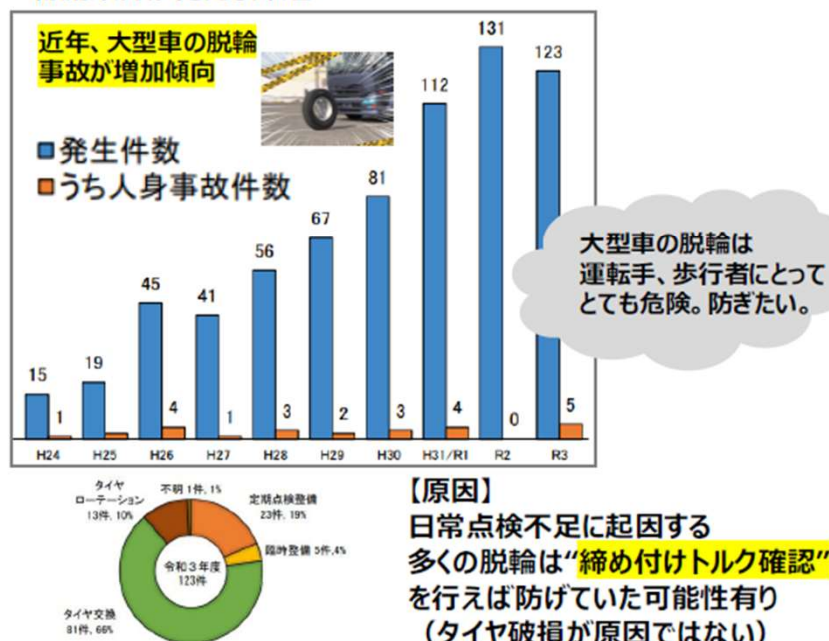
14.成長に向けた経営方針

事業ポートフォリオの創出 自動車アフターマーケット

着目した社会課題



物流業界が抱える課題



日常点検の新常識

ニフコのホイールナットインジケーター

WaOSaFe

Safety & Smart with WAOSAFE.

ホイールナットインジケーター **WAOSAFE** のおすすめポイント！

- ナットの緩みがひと目でわかる！
- チェック時間を大幅短縮！
- 簡単に取り付け・取り外し可能！
- 誰でも同じように確認できる！
- ナットを保護する形状！
- デザインもスタイリッシュ！



ナットの緩み視認性

- ・ナットの緩みにより製品矢印部が移動
- ・判定エリアを外れることでナットの緩みを判断
- ・早く、正確な点検が可能に



組付け性能

- ・組付け時にナットにセットしやすい
- ・少ない力で簡単装着
- ・裏表を間違えない形状



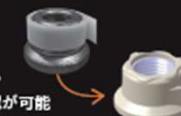
デザイン

- ・同心円形状
- ・ホイール意匠に馴染むデザイン



ナットを覆う形状

- ・カラーの隙間に水・泥が入りにくい
- ・開口形状の為、ボルト突出量の確認が可能



事業ポートフォリオの創出 熱中症対策

6月施行の熱中症対策義務化がトリガーとなり学校、企業、自治体等からの問い合わせが増加中



地方自治体



学校



物流業



製造業



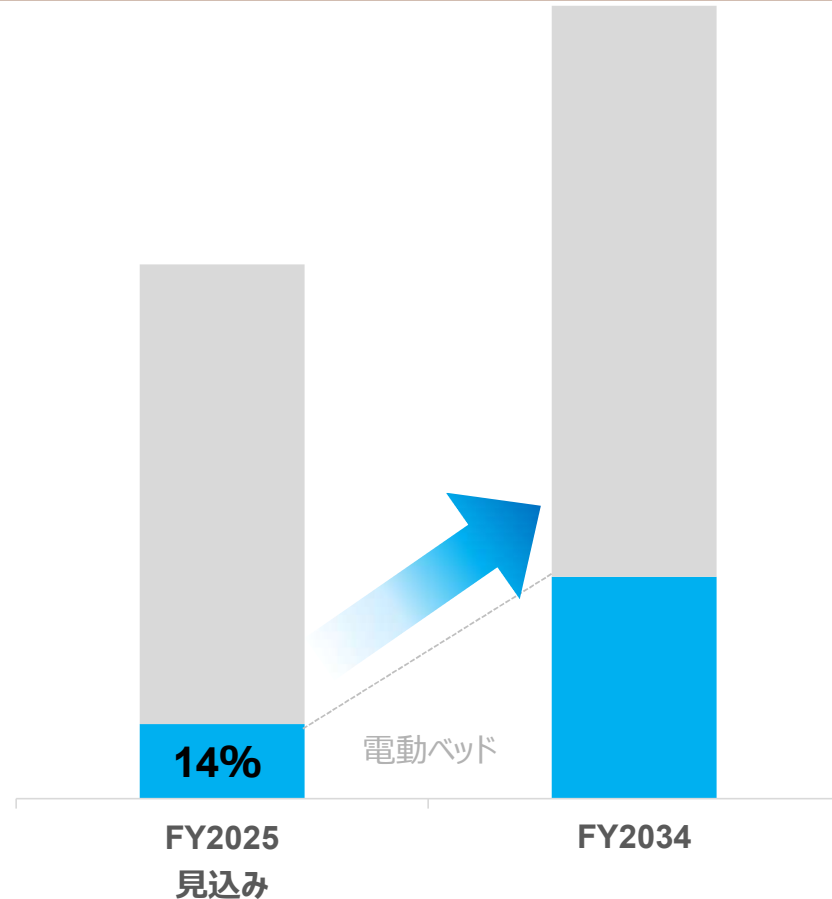
運輸業

商品

-新作ハットiD motion発売開始(2025年10月)



電動ベッド 売上構成(比率)





飛鳥Ⅲ





1,000セットを超えるマットレスが採用

画像提供：郵船クルーズ

18.設備投資計画

設備投資（単位：億円）



国内投資

投資抑制

海外投資

2016、2017 名古屋工場



西地区
技術・生産拠点

2019 2020 ニフコ北関東



2018 ニフコ熊本 新工場



PF専用工場

九州
主力生産拠点

2024 2025 メキシコ工場



現代・起重

2024 2025 インド工場



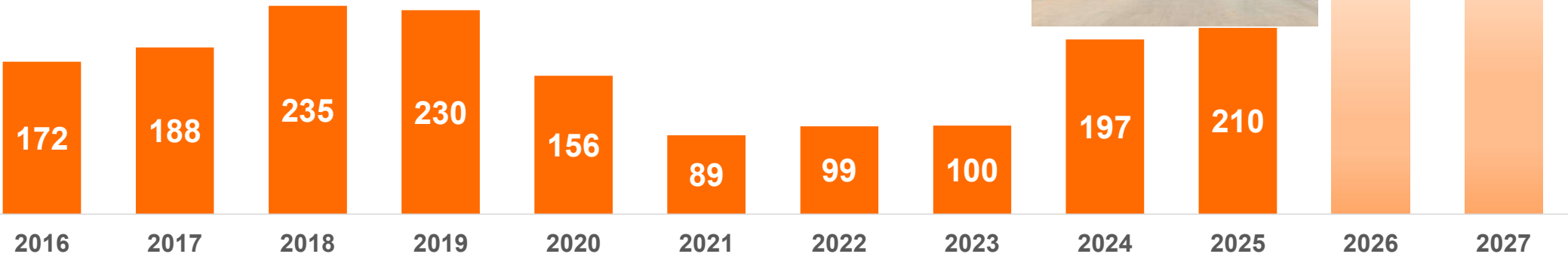
現代・起重
+インドローカル

成長投資

人的投資

DX投資

新規事業

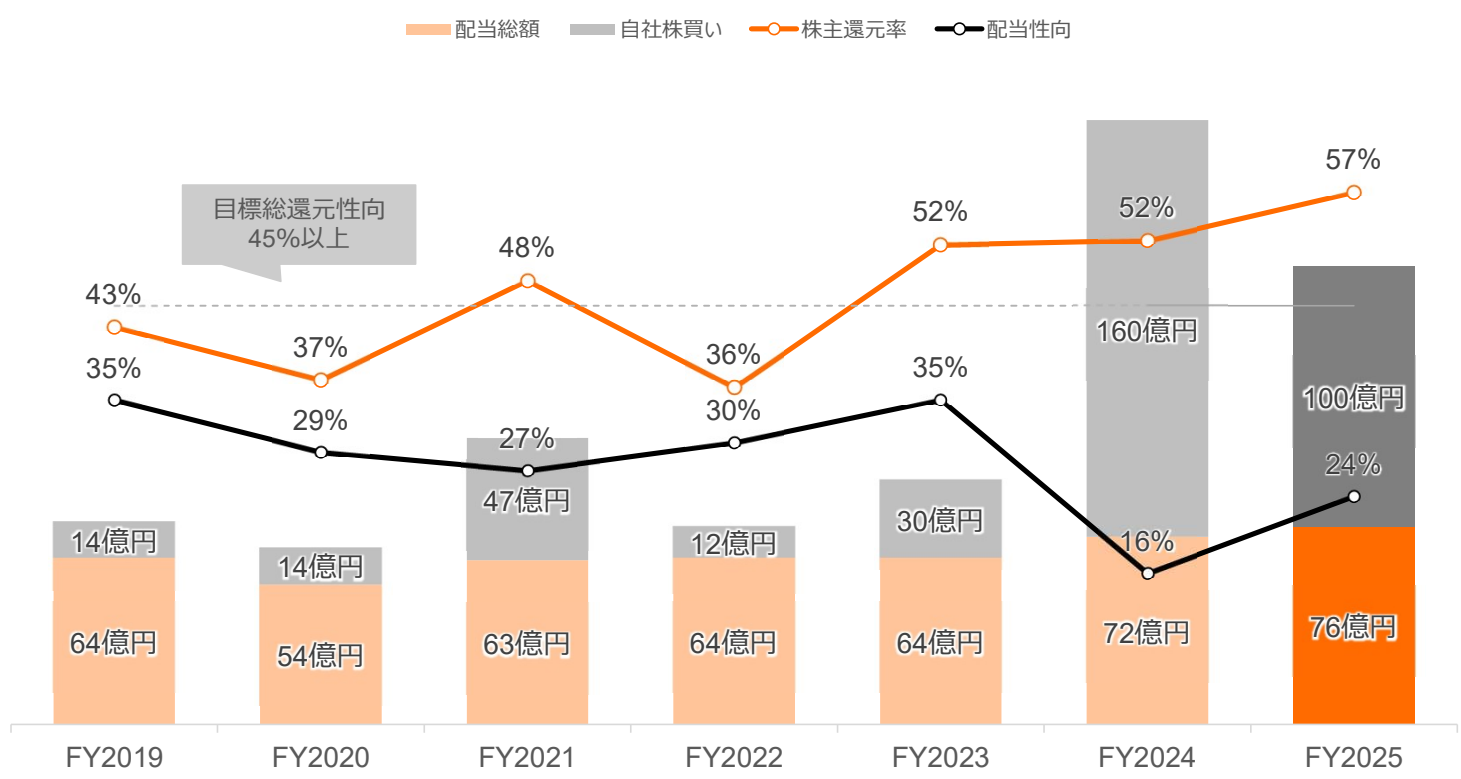


19.株主還元

今期配当は80円 & 100億円自社株買いを実施

- 配当は80円と前期比5円増配
- 自社株式買50億円実施、Q1と合わせ100億円実施

配当総額、自社株買い、総還元性向（億円、%）

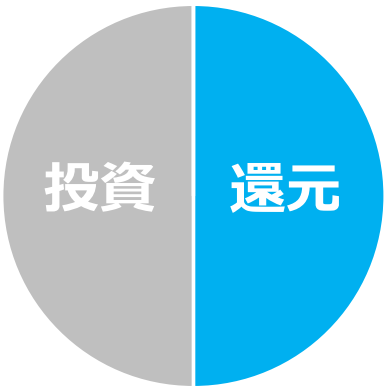


還元方針

総還元性向
50%以上

配当性向
30%以上

イメージ





小さな気づきが、勝負を動かす。

Pacific League
Official Sponsor

NIFCO

本資料に記載されている情報には将来の見通しに関するものが含まれています。これらには現在入手可能な情報をもとにした判断が含まれており、リスクや不確実性が含まれています。今後の経済状況、事業環境の変化などにより将来の見通しが大きく変わる可能性があるため、将来の見通しに関する情報が正確であること、または記載した情報どおりになる事を当社が保障するものではありません。また、これらの情報は投資家の方々へ当社の状況や今後の考え方を伝えることを目的としており、当社株式の売買を勧誘するものではありません。

FY2025 上半期 売上高 営業利益(海外セグメントは1-6月)

		売上高			営業利益		
		2024年度 上半期	2025年度 上半期	前年同期比	2024年度 上半期	2025年度 上半期	前年同期比
連結		1,762億円	1,731億円	-1.8%	251億円	251億円	+0.0%
合成樹脂		1,581億円	1,555億円	-1.6%	252億円	251億円	-0.3%
日本		408億円	426億円	+4.5%	81億円	76億円	-5.8%
北米		470億円	467億円	-0.7%	51億円	52億円	+1.5%
欧州		153億円	138億円	-9.7%	17億円	15億円	-5.6%
アジア		550億円	524億円	-4.7%	103億円	107億円	+4.0%
中国		145億円	138億円	-4.8%	27億円	30億円	+12.9%
インド		54億円	52億円	-2.5%	12億円	12億円	-1.2%
ベッド		181億円	176億円	-3.1%	27億円	25億円	-6.9%
日本		99億円	97億円	-2.0%	13億円	13億円	+2.0%
アジア		82億円	79億円	-4.5%	14億円	12億円	-14.8%

Appendix

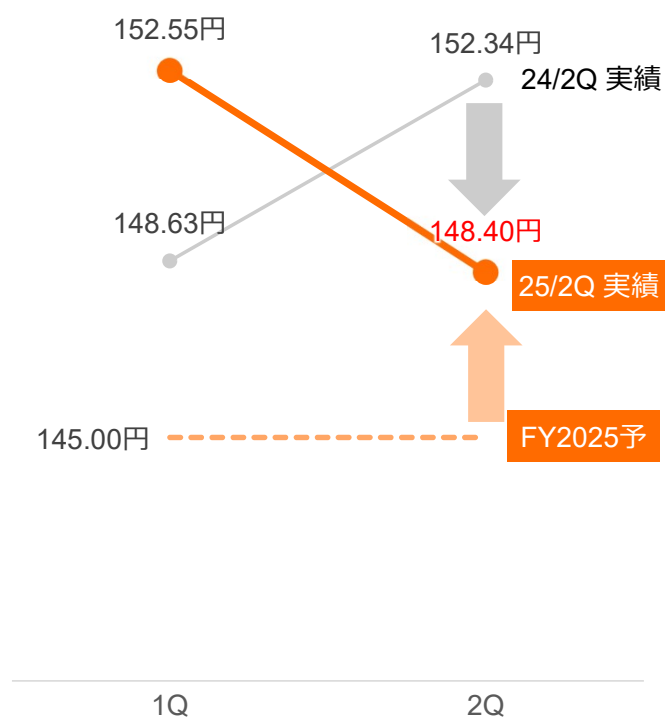
設備投資と減価償却費



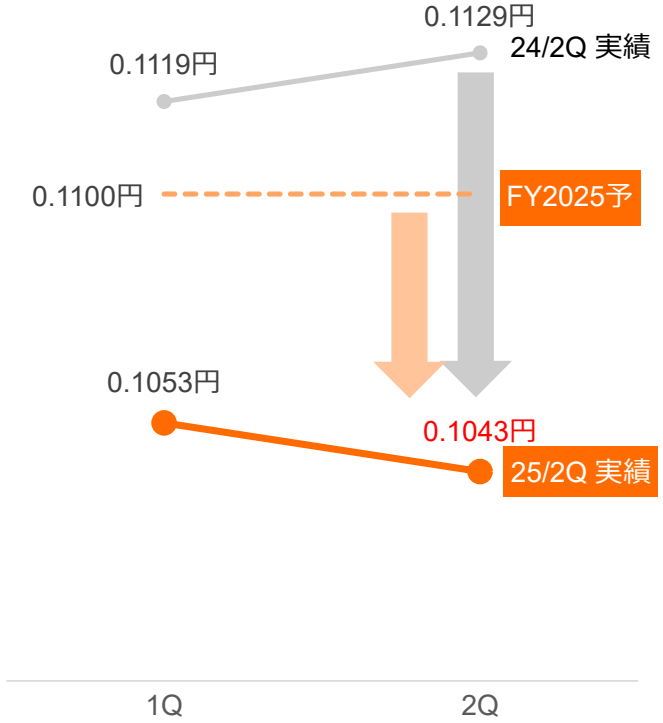
	2024年度(上期)	2025年度(上期)	増減	2025年度通期計画
設備投資額	84億円	96億円	+12億円	210億円
減価償却費	65億円	62億円	-3億円	135億円
研究開発費	21億円	19億円	-1億円	48億円
営業CF	255億円	174億円	-80億円	460億円
投資CF	-150億円	-49億円	+100億円	-230億円
フリーCF	105億円	124億円	+20億円	230億円
財務CF	-156億円	-194億円	-37億円	-270億円
現預金残高	1,409億円	1,305億円	-104億円	1,370億円

- 前年比では3通貨すべて円高
- 予算比ではコリアウォンが円高、それ以外の2通貨は円安

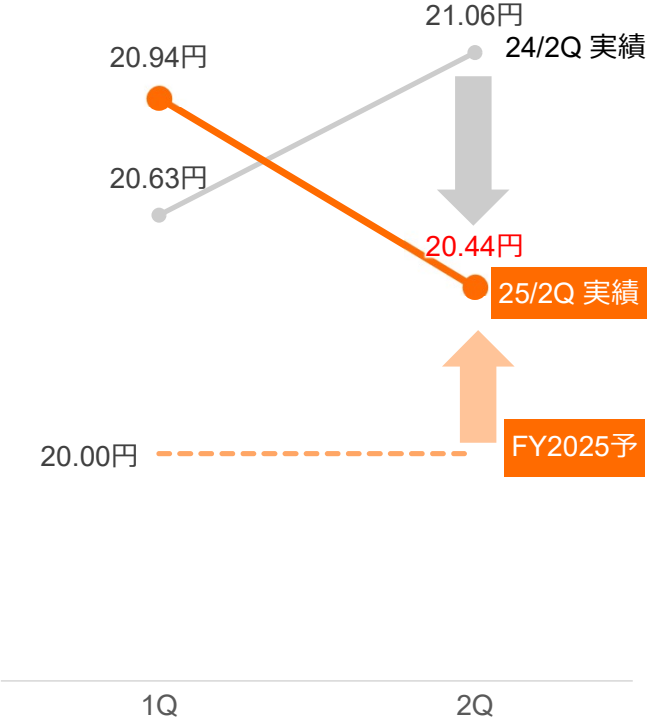
USD : 148.40円



KRW : 0.1043円



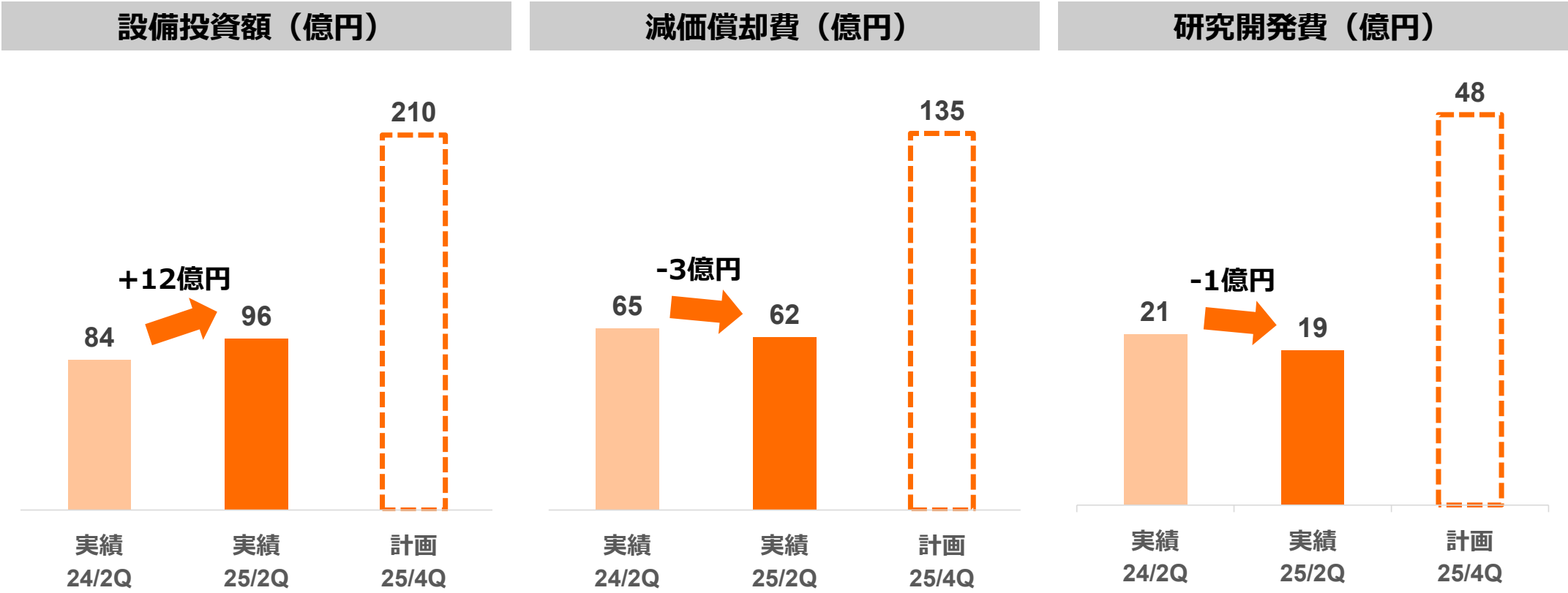
CNY : 20.44円



Appendix
設備投資と減価償却費

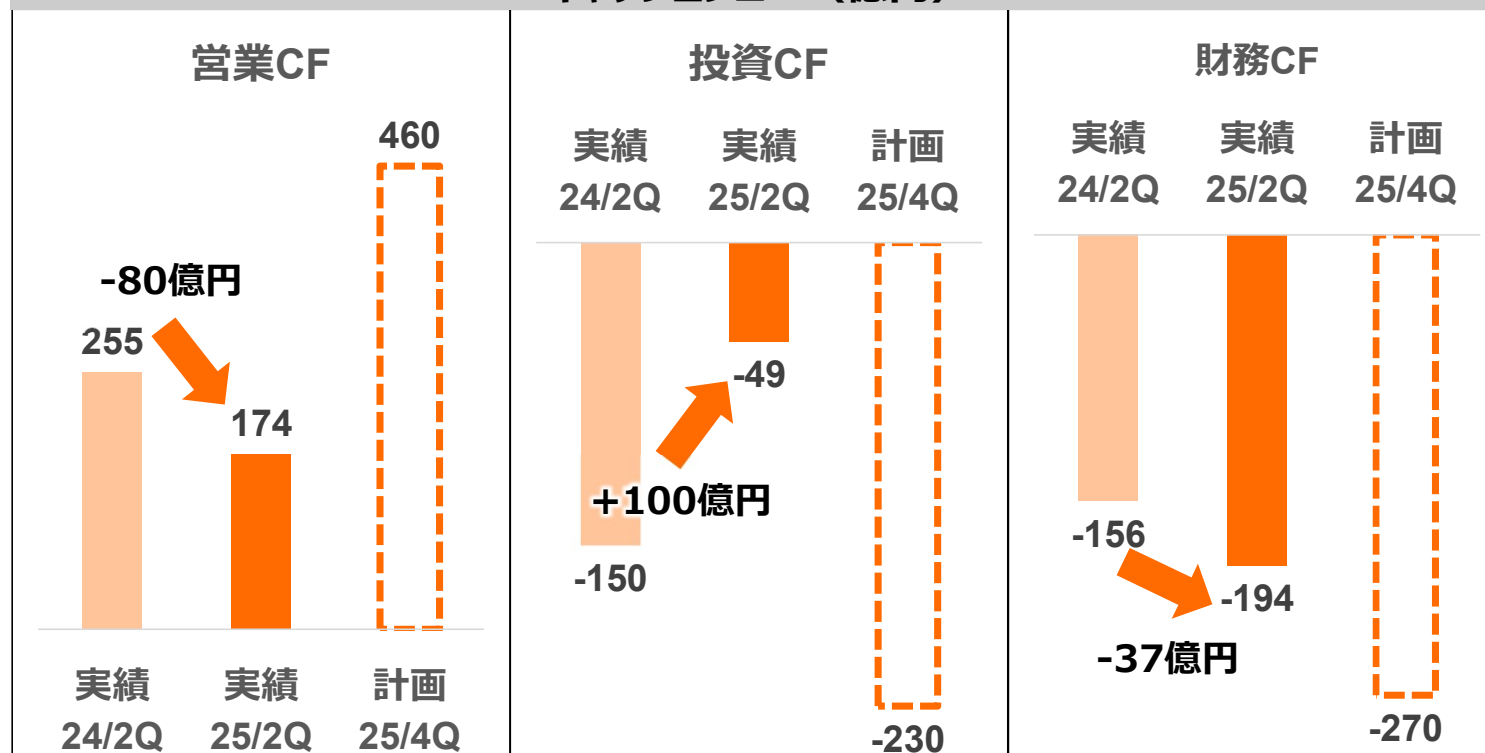


- 設備投資はインド工場（韓国系・日系）への投資により増加
- 減価償却費・研究開発費は昨年並み

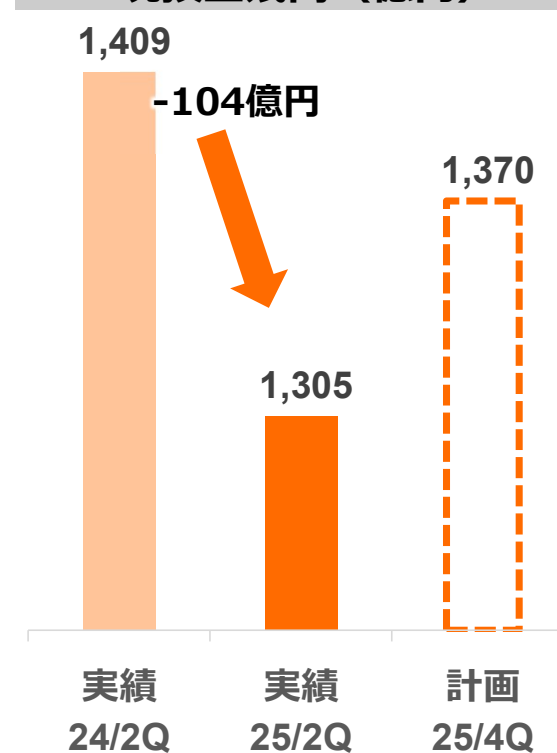


- ・ 営業CFは、国内仕入先への支払いサイト変更により前年度を下回る
- ・ 期末現預金は社債償還により104億円の減少

キャッシュフロー（億円）

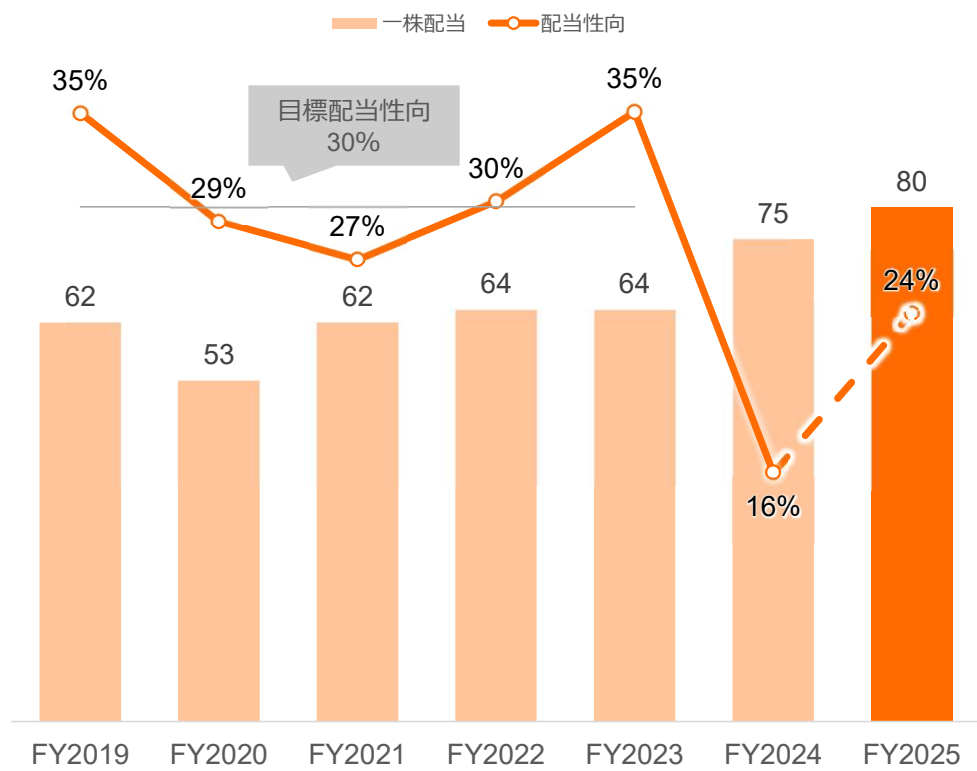


現預金残高（億円）



- 配当は80円と前期比5円増配
- 自社株式買50億円実施、Q1と合わせ100億円実施

一株配当、配当性向（円、％）



配当総額、自社株買い、総還元性向（億円、％）

